

南仏治安情報(2011年1月)

■プロヴァンス地方

1. 2010年の犯罪統計、マルセイユ市で1日平均26件の強盗恐喝事件
2010年の犯罪統計によると、強盗・恐喝などの暴力を伴う窃盗がマルセイユ市内では1日平均26件、前年比19%の増加傾向にあることがわかりました。ブーシュ・デュ・ローヌ県では年間で1700件の強盗事件が起き、その半数が銃などで武装した犯人によるものでした。84件起きた殺人事件の内47件がグループ間抗争によるもので、麻薬取引グループの関係が近年緊迫化しているようです。また性犯罪は2009年に比べ12%増加しているようです。
2. 低所得者住宅地区を中心とした麻薬取引
ブーシュ・デュ・ローヌ県では、麻薬取引のグループ間抗争が原因で16歳少年が狙撃され死亡した昨年11月21日以降、マルセイユ市のシテ地区を中心に治安機関による2ヶ月間で156回の一斉捜索が行われました。これにより合計394人が取調べを受け、50丁の銃を含む武器押収が86件、大麻62kg、コカイン3.5kgが押収されています。
3. 商店などへの強盗事件が頻発
当地方では12月末から1月末にかけて、地方紙が報じたものだけで34件(内29件はマルセイユ市内)の商店などへの強盗事件が発生しました。犯行は武装した2~5人組によるものが多く、宝石店の他はパン屋やガソリンスタンドなどの小型商店が被害に遭い、特にタバコ屋が12件と頻繁に狙われているようです。
4. マルセイユ~エクサンプロヴァンス間のTER路線の治安悪化
マルセイユとエクスを結ぶフランス国鉄TER路線において、駅施設の破壊行為や乗客、駅職員への暴力行為、麻薬取引など、近年治安が悪化しています。2010年には約100件の犯罪が起こっており、破壊のひどいSaint Antoine駅は閉鎖されています。エクス市内駅では麻薬取引が行われており、観光客を含め夜間の利用は避け、日中も十分な注意が必要なようです。
5. ジャパンエキスポでの盗難被害注意
2月25日~27日までマルセイユで開催されるジャパンエキスポの会場では毎年多くのすりや置き引き等の盗難被害が確認されています。昨年は2ユーロ硬貨に似たタイプの10パーツ硬貨(日本円で40円程度)を出店者が釣り銭として客に渡した等の悪質な被害もありました。ご来場の際には盗難や詐欺被害に遭わないよう十分ご注意ください。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. 武器を用いた強盗事件、依然として多発
ニース市やアンティープ市、モナコで1月中に武器を用いた強盗事件が未遂を含め9件発生しました。被害は薬局やタバコ屋、パン屋、高級ホテルなど様々で、被害額も数百ユーロから数十万ユーロと多様でした。中には2010年11月から連続して4回も被害に遭っている薬局への事件もありましたが、事件後に2人の15歳の少年が逮捕されました。
2. 年末年始の若者による挑発行為
ニース市東部では12月29日夜にゴミ箱放火のため出動した消防士6人が、覆面をした十数人の若者達に爆発物を投げられ、消防士1名が聴力障害を負う事件が起こりま

した。また同じく市東部に於て1月1日に50人近くの若者による警察官に火炎瓶などを投げつける挑発事件が起きています。この事件で11人が取調べを受けています。

3. 酒に酔った若者達による乱闘事件

1月1日の早朝、Auron や Isola 2000 等のスキー場で、20～50人もの酒に酔った若者達による乱闘事件が相次ぎました。飲食店の閉店後に同時多発的に殴り合いの喧嘩が起り、十数人の怪我人を出しています。他にも Valbonne で行われた新年パーティーに40～60人の部外者が乱入し、窃盗や喧嘩、駐車車両への破壊行為が起きました。

4. コルシカ島での爆破事件

1月18日午前2時頃、Ajaccio 市内で2件のバーがダイナマイトにより爆破されました。店舗2軒とも完全に破壊され、付近に駐車中の車両15台が破損しました。この事件で2人が軽症を負い病院へ運ばれ、付近住人など約50人が非難しました。現在のところ犯行声明は出されていません。

■ミディ・ピレネー地方

1. オート・ガロンヌ県の犯罪統計

警察と県庁の発表によると、2010年には県内で77860件の犯罪が起り前年に比べ1.4%増加していることがわかりました。中でも暴力事件や強盗・恐喝事件などの対人犯罪が前年に比べ6.8%増加、窃盗などの対物犯罪が1.16%増加しているようです。当地方で特に問題となっている空き巣の被害は6.6%の増加傾向にあるようです。

2. 押込み強盗や空き巣狙いが多発

1月にはトゥールーズ市および郊外で11件の押込み強盗、13件の空き巣の被害が起りました。被害のほとんどが一戸建ての住居で起こっており、金庫や宝飾品、電化製品のほか、高級車が狙われているようです。一人暮らしの高齢者宅も頻りに狙われ、時には居合わせた住人が死に至る暴力事件にも発展しています。改めて戸締りや貴重品の保管にはご注意ください。

3. 高齢者を狙った押込み強盗事件

貴金属価格の高騰を受け、金の宝飾品を狙った高齢者宅への押込み強盗が多発、2010年には前年に比べ20%も増加しました。このような押込み強盗は日中11時から17時に起こることが多く、Castanet、Auterive、Muret など交通公共機関が発達した郊外地区に多く見られています。女性や子供等力の弱い被害者に対し複数人で暴力を加える凶悪な事件も多いようです。

4. 2010年に被害に遭った盗難車の傾向

週間誌『Auto Plus』によると、2010年に盗難届が提出された車両はフランス全体で121521台、1日に332件の盗難が起きたことが明らかになりました。保険会社の資料を元にした統計では、Renault Twingo 1の被害が一番多く(2.45%)、次いで Smart Fortwo (1.69%)、Renault Megane 2(1.09%)、Porsche Cayenne(1.03%)、Peugeot 306(0.9%)の順だったようです。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。